

南一の風 育てたい力(資質・能力):つながる力・考動する力・創り出す力

令和2年度「こころのアンケート」 結果について

昨年11月から12月にかけて、熊本県公立学校「心のアンケート」を実施しました。このアンケートは、熊本県内のすべての公立学校に在籍する児童生徒を対象に、「熊本県いじめ防止基本方針」に基づき「いじめの防止、いじめの早期発見・早期解決等のため」を目的として毎年実施しているものです。本校では、このアンケートをもとに、子どもたち一人一人と教育相談を行い、いじめや悩み等の早期解決・解消に努めています。一部ではありますが、結果をお知らせします。

◎あてはまる、○どちらかといえばあてはまる、 △どちらかといえばあてはまらない、×あてはまらない				
質 問	◎○ (人)	△× (人)	◎○ の割合 (%)	
学校が楽しい	134	8	94.4	
誰かの役に立っている	84	58	59.2	
授業がよく分かる	131	11	92.3	
自分に自信がある、 自慢できることがある	98	44	69.0	
4月からいじめられたことがない	101	41	71.1	
通信機器：1日の使用時間 (3年以上回答)	1時間 未満 41	1時間 以上 48	47.7	
通信機器：家庭でのルールが ある(3年以上回答)	ある 67	ない 22	ある 75.3	
通信機器：スマホ、携帯電話、パソコン、タブレット、 ゲーム機器、携帯音楽プレーヤーなど				

いじめについては、けんかやふざけあいであっても、児童生徒が感じる被害性に着目し、背景をしっかりと調査することになっています。トラブルが生じた場合には、これまでもこの視点に立って喧嘩両成敗で終わらせることなく、しっかりと聞き取りを行ってきました。今回のアンケートでも「いじめが続いている」と回答した児童には、担任がその内容や状況等について聞き取りを行い、対応しています。今後も子どもたちの様子をしっかりと見守り、子どもの声に耳を傾け、寄り添っていきたいと思います。11月より毎週行っている「アンケート」や「すっきり笑顔で帰す」を基本スタンスとして、いじめがなく、子どもたちにとって安心・安全な学校づくりに努めていきます。

3年生以上の子どもたちが回答しているスマホや携

帯電話、ゲーム機器などの通信機器の1日の使用時間については、1時間以上使用している割合が52.3%、使用時のルールを決めている家庭の割合は75.3%でした。ゲーム障害や視力低下の問題、相手を不愉快な気持ちにさせる言葉、いじめにつながる問題が懸念されます。是非、ご家庭でのルール作りをお願いします。学級懇談会でも話題にしたいと思います。

学校評価結果

今回は紙媒体ではなく、初めての試みとして電子回答でお願いしました。今後、分析をして、今後の教育活動に活かしていきます。ご協力ありがとうございました。最終結果等については、後日お知らせします。※表の数値は、2月3日(水)12時現在での数値で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合です。回答数109

質 問 項 目	%
学校は、ホームページや学校便り等で教育活動や教育方針を分かりやすく伝えている。	97.3
学校は、いじめや差別をなくす取り組みを行っている。	92.7
学校は、ホームページや各種便り等で人権についての啓発を行っている。	89.0
学校は、体験活動を通して豊かな心を育てている。	90.8
学校は、教育活動を通して思いやりや感謝の心を育てている。	84.5
担任は、楽しく、分かる授業を行っている。	87.1
担任は、子どもの思いや願いに寄り添っている。	89.9
学校は、地域の人材や保護者等を活かした教育活動を行っている。	86.2
学校は、PTA活動等に積極的に協力している。	90.9
学校は、電話や来校時の対応が丁寧である。	99.1
担任・職員に相談しやすい。	92.6
学校は、美しく潤いのある環境づくりに努力している。	90.0
子どもは、楽しく学校に行っている。	92.6
子どもは、家庭学習(宿題、自学等)の習慣が身に付いている。	81.7
子どもは、読書に親しんでいる。	65.1
子どもは「早寝、早起き、朝ご飯」などの基本的な生活習慣が身に付いている。	86.2
子どもは、運動や外遊びを意欲的にしている。	76.1
子どもは、家庭や地域でも進んで挨拶をしている。	79.9
子どもは、きまりやルールを守っている。	90.9